

「ご当地電力証明」の取組みをスタートします！！

2018.3.31

生活クラブエナジーでは2017年度より、一般社団法人全国ご当地エネルギー協会との連携による「ご当地電力証明」の取組みをスタートしました。

生活クラブエナジーは2015年から高圧接続の事業所への電力供給を開始し、2016年小売全面自由化をふまえて低圧接続の組合員家庭に電力供給を開始し、現在年間5,000万kWh、組合員契約件数12,000人を超えるまでになりました。「生活クラブでんき」の基本的な考え方は、生活クラブ総合エネルギー政策にもとづき「脱原発」「エネルギー自治」「CO<sub>2</sub>削減」の3つをめざし、「エネルギーを使うことを減らす」「自然エネルギーをつくる」「自然エネルギーを選択して使う」の3つの柱にもとづきすすめ、「生活クラブでんき」は自前の自然エネルギー発電所や志を共にする全国の生産者や地域（ご当地）を視点とする自然エネルギー発電所と契約を広げることが方針としてすすめてきました。2017年度実績では全体で約60%が自然エネルギー発電所からの電気の割合となっています。

生活クラブエナジーでは自然エネルギー発電生産者と直接契約することで自然エネルギー比率の高い電気はもとより更に「顔の見える電気」をめざし「ご当地電力証明」の取組みをすすめます。

「ご当地電力証明書」認証制度では、電源及び事業者について、地域性・社会性などを第三者委員会が審議し、地域に資する「ご当地電力」を見える化することで、消費者が「ご当地電力」を選択することができる社会を目指しています。

今回その第一号として、生活クラブエナジーの電力調達先である、福島県の会津電力株式会社（雄国太陽光発電所）、飯舘電力株式会社（伊丹沢太陽光発電所・前田佐藤宮農型太陽光発電所）が、ご当地電力価値認証委員会からの承認を受けました。

現在は、ご当地電力価値は「生活クラブでんき」の一部として生活クラブ組合員のお宅や関連事業所等に広く行き渡る形でスタートしますが、将来的には特徴を活かした新たなメニューづくり等を発電事業者、消費者の皆さんの意見をいただきながら検討していきたいと考えております。今後にご期待ください。

#### 【2017年の認証電力量】

発電事業者	発電所	電力量
会津電力株式会社	雄国太陽光発電所	251,649kWh
飯舘電力株式会社	伊丹沢太陽光発電所	13,800kWh
	前田佐藤宮農型太陽光発電所	17,362kWh

※初年のため調達開始した9月から12月までの発電量となっています

#### 【ご当地電力価値基準（ご当地電力価値認証基準より抜粋）】

ご当地電力価値基準を満たすには、以下の3つの項目のうち（1）を満たし、（2）あるいは（3）の項目に該当しなければならない。

##### （1）プロジェクトのオーナーシップ

地域の利害関係者がプロジェクトの大半もしくはすべてを所有している。

##### （2）プロジェクトの意思決定

プロジェクトの意思決定はコミュニティに基礎をおく組織によっておこなわれる。

### (3) 便益の分配

経済的・社会的便益の多数もしくはすべては地域に分配される。

#### 【ご当地電力認証委員会メンバー】

阿南 久 (元消費者庁長官)

木下徳彦 (Lloyd's Register LRQR アセスメントグループプロダクトオーナー・テクニカルリード)

深津学治 (グリーン購入ネットワーク事務局長)

吉田明子 (FoE Japan 原発・エネルギー担当)

事務局 (代表) / 飯田哲也 (環境エネルギー政策研究所所長)

#### 【関連法人ウェブサイト】

■一般社団法人全国ご当地エネルギー協会

<http://communitypower.jp/>

■会津電力株式会社

<http://aipower.co.jp/>

■飯舘電力株式会社

<http://iitatepower.jp/>

#### 【ご当地電力証明書の仕組み】

